

○「水田活用の手だて  
平成30年産米特A評価の獲得に期待」  
(京都府京丹後市大宮町地区連絡会議)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

遊休農地の  
発生防止・  
解消

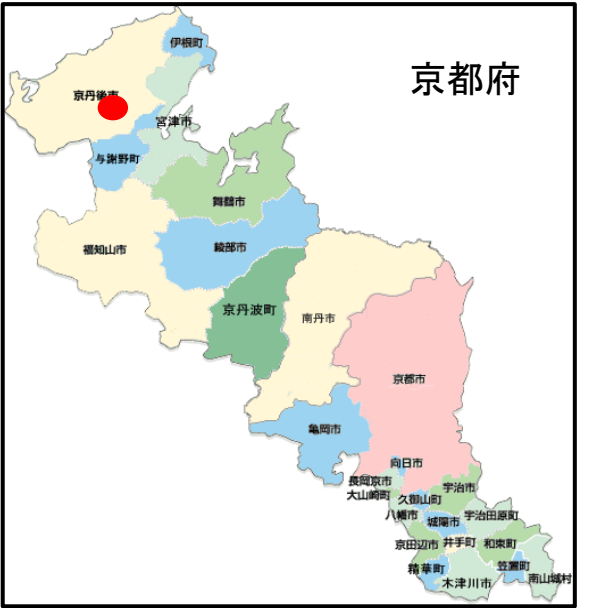
新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年6月6日 午後5時～6時
- 場 所: 京丹後市役所大宮庁舎
- 出席者: 農業委員3人、最適化推進委員6人
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役

写真・図面  
(地区連の写真又は  
必要に応じた活動の写真や図面)



2 地区の特徴、状況、課題

- 市の幹線国道を挟んで東西に水田が広がる
- 大宮町時代から小学校区や集落を単位にむらづくりが盛んに行われ、地区での話し合い活動の素地はある

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 今年度話し合い活動を支援重点地区の明田地区への働き掛けをスタート
- 丹後コシヒカリの「特A評価」の獲得に向けた意見交換が行われ、30年産米の獲得に期待感
- 
- 
- 
- 
- 

- 4 活動結果
- 情報・意見交換 1 時間
  - 担い手への集積 a 増加
  - 遊休農地面積 a 解消
  - 新規就農者 人 支援